コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2017-04-01　　No. 85

株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation　本社・大野木事業所
〒516-2102 三重県度会郡度会町大野木 3571 番地 2　http://www.safetyweb.co.jp/

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC &安全　目次

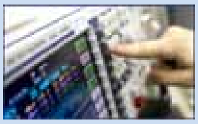
エグゼクティブサマリー Executive Summary 2
IEC: 規格解説: CISPR 25:2016 Ed.4 車両等 - 車両搭載受信機の保護のための限度値等(1/2)..... 3
IEC: 新規格リスト 6
ISO: 新規格リスト 8
国際テーマ: UNECE: 車両規制の整合化世界フォーラム 170 回セッション報告書........ 8
国際テーマ: 欧州無線機器指令（RED）への対応: 多くの新しい欧州整合規格が必要 10
国際テーマ: オーストラリアとニュージーランドへの市場参入条件........ 11
国際テーマ: GSO: バーレーンのマナマで開催された湾岸通知機関会議........ 11
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲........ 12

USA: FCC: Part 15: 非意図的放射機器 家電機器: 機器認証手続きの適用免除は？........ 13
USA: FCC: Part 15, 73: ‘次世代’放送テレビ伝送規格‘ATSC 3.0’を提案........ 14
USA: DOT: 車両間 V2V 通信に関する連邦自動車安全規格（FMVSS）No.150 策定の提案..... 15
USA: CPSC: 子供向け以外または汎用製品に対する試験 (4/8)........ 16
USA: EPA: エネルギースター: 初の電気自動車用充電器仕様完成........ 17
USA: DOE: 省エネプログラム: 汎用ランプ省エネ規格........ 18
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知........ 18
USA: ANSI/UL: 新規格リスト 19
USA: IEEE : 新規格リスト 21
カナダ: 通知 No. SMSE-004-17 — 無線標準仕様 RSS-247, issue 2, DTS 等デバイス........ 22

EU: 無線機器指令 2014/53/EU の整合規格リストが更新........ 24
EU: 整合規格リスト発表: 規制 (EC) No 765/2008 等関連、REACH 関連........ 24
EU: 低電圧指令 LVD 2014/35/EU ガイドライン - 2016/11 発行: 一部抜粋紹介 25
EU: ラピッド RAPID アラートシステム: 2016 年危険製品に関する年次報告書発表........ 26
EU: ETSI: TR 103 400 V1.1.1 2017-03 付発行: ETSI 規格への EN 55035 のインパクト 28
EU: CENELEC: 冊子「2017 年度廃棄電気・電子機器(WEEE)に対する欧州規格」発行........ 29
EU: CENELEC: 新規格リスト 30
EU: ETSI: 新規格リスト 32
オーストラリア: EMC 規格新リスト: EN 55032:2015、CISPR 32 Ed 2.0 が新規に掲載 35
ニュージーランド: 無線規制 (コードレス電話に対する一般使用者無線免許) 通知 2017 35

中国: CQC: 風力タービンの設計認証規則改訂に関する通知 35
中国: CQC: 食品接触製品の安全認証への新版規格と認証規則の実施に関する通知........ 36
中国: CQC: 電気自動車の充電設備用非金属材料性能の安全認証実施規則改訂通知........ 36
中国: 新規格リスト 36
台湾: 公告「インテリジェント高効率照明システム技術規範」 37
台湾: 「検査を適用する電気毛布など 63 項目の商品の関連検査規定」を改正........ 37
台湾: 「検査を適用する安定器内蔵型蛍光灯商品の関連検査規定」を改正し、即日発効....... 37
台湾: 「電気・電子商品標示基準」を制定、発表から一年後に有効........ 38
台湾: 新規格リスト 38
韓国: 電気通信事業用無線設備の技術基準の一部改正（案）行政予告........ 38
韓国: 安全確認対象等生活用品安全基準、及び子どもたち製品の安全基準........ 39

総務省: IEC: 情報通信審議会配付資料:「CISPR 杭州会議の結果について」(2/2) 40
総務省: 平成 28 年度無線設備試買テストの中間結果報告（3 月期） 43
総務省: 無線設備規則の一部を改正する省令案について （電力線搬送通信関連） 43
総務省: BS 等 4K・8K 放送の視聴に関するお知らせ: 平成 30/12 月から実用放送開始........ 44
経済産業省: 日本工業規格（JIS）を制定・改正しました（平成 29 年 3 月分） 44
ちょっといっぷく～小クイズコーナー～EMC 指令における IEC 規格対応の EN 規格........ 12
コスモスからのお知らせ: 電球型 LED ランプの JNLA 試験が可能です 23
社長の独り言 45



IEC: 規格解説: CISPR 25:2016 Ed.4 車両等 – 車両搭載受信機の保護のための限度値等(1/2)

「CISPR 25:2016 Ed.4.0 車両、小型船舶及び内燃機関 - 無線妨害特性-搭載受信機の保護のための限度値及び測定方法」が、2016-10 付けで発行された。本第 4 版は，2008 年に発行された第 3 版を廃止し、それに代わるものである。

- 「同一車両上のアンテナで受信されるエミッションの測定(5)」での変更
  - 「5.2 測定方法」では、充電モード時の車両の測定も可能なように試験レイアウト図が新規のものに書き換えられた。又、「5.3 充電モードの車両に対する試験のセットアップ」項が、新規追加され、充電モード車両に対する試験が可能になった。
- 「部品及びモジュールの測定(6)」での変更
  - 今版において、「附属文書 I （強制的）電気車両及びハイブリッド車両の高電圧用遮へい電源システムの試験方法」が新たに追加されたことに伴い、LV/HV 部品について、試験方法及び限度値を本節のものを使用するか、附属文書のものを使用するかの区分けを本項にて規定している。
- 附属文書 J （情報的）ALSE 性能検証（性能妥当性確認）150kHz～1GHz 追加

国際テーマ: UNECE: 車両規制の整合化世界フォーラム 170 回セッション報告書

- 国際全車両型式承認 (IWVTA) システムの進展(UN 規制 Regulation No. 0)、及び gtr No. 15 (全世界軽車両整合化試験手順 (WLTP))への修正 Amendment 1 に対する提案　　等の報告

USA: FCC: Part 15: 非意図的放射機器 家電機器: 機器認証手続きの適用免除は？

FCC KDB(レッジデータベース)から

- 適用免除対象の家電機器は、衣類の洗濯および乾燥、掃除、調理、または食事の準備において人を支援する、家事のための電気機械、もしくは、住宅における生活用水および空気の供給の調節（加熱、冷却および加湿）に直接関係する機器である。

USA: FCC: Part 15, 73: ‘次世代 ’ 放送テレビ伝送規格 ATSC 3.0 を提案

- 米国連邦通信委員会（FCC）は、本日、TV 放送業者が「ATSC 3.0」と称される、‘ 次世代 ’ 放送テレビ伝送規格を任意かつ市場主導のベースで使用できるようにする提案に関し、コメントを求める。

EU: 無線機器指令 2014/53/EU の整合規格リストが更新

- EU 官報 OJ にて無線機器指令 2014/53/EU の整合規格リストが更新、新規格は 14 件記載。

EU: ラピッド RAPID アラートシステム: 2016 年危険製品に関する年次報告書発表

EU: ETSI: TR 103 400 V1.1.1 2017-03 付発行: ETSI 規格への EN 55035 のインパクト

- 本文書は、現行の ETSI EMC 刊行物への CENELEC EN 55035 のインパクトを検討し、そして、これら刊行物にどんな変更 (もしあれば) が加えられるべきかについて、ETSI TC ERM に推奨を与えることを意図している。

社長の独り言

平成 29 年 3 月 23 日
濱口　慶一

一部の地域では桜の満開を宣言されたところもあるようです。学生は卒業式や入学式、企業で働く私共には転勤の季節となってきましたが、皆様は如何お過ごしですか？

間もなく、弊社にも大学と高校を卒業した方々が、入社して来ます。私も工業高校を卒業すると同時に名古屋の石川島播磨重工名古屋造船所に入社しました。そこで初めて船はロイド規格、日本海事協会の規格で設計されていると習いましたが、その時の教育があって製品安全の世界に入ったのかもしれません。一度は企業で働くことをあきらめ、家業の農業に従事することもあったのですが、父の死をきっかけにまた会社勤めを選択し、現在に至っています。

その中で色々な方に出会うことがあり、沢山の教えを受けました、電卓の電気回路の設計開発チームに参加した頃には、電卓はワンチップ化して設計の楽しみもほとんどなく、一度設計した回路をコピーして、OEM 先のモデル名に書き換える程度のモデルが圧倒的に多くなったように思います。
その頃の上司から紹介された **“ 計算機制御の基礎 ”** 岐阜大学教授、工学博士　大川義邦著（コロナ出版）があります。”１・４読者に対する注意」の中の１・３・４項で「計算機制御系の設計とチーム” の中に記述されているところを引用します。

> “ 計算機制御系を設計する際に最も必要となるのは、専門分野の異なった技術者を集め、問題をあらゆる角度から検討すると言うことである、こうすることによって、論理的欠陥を少なくし、より効率の良い制御系が設計されるからである。この専門家グループをチームという。
> チームの一員となる技術者に要求される資格は、第一に各自の専門分野のエキスパートであること。第二に他の専門分野の実情を理解することのできる柔軟な頭脳を持っていること。第三にいついかなる技術者とも、良いヒューマンリレーションを結ぶことのできるおおらかな性格の持ち主であることの三条件ある “

以上のように書かれたところを読みました。非常に大きなインパクトを受け、その次の項目でフローチャートの規約と進み、１・４・２ではフローチャートによる計算手順の表現という解説に進んだのですが、コスモスを創立して色々な課題にぶち当たる都度、このフローチャートで色々な課題を解決するためのプロセスフローを書き、どこに改良点があるのかと考える癖が身に付いた気がします。ずいぶん難題にもぶつかりましたが、解決方法を見つけた裏には常にフローチャートがあったと断言できます。

この本を紹介してくれたのが当時の設計開発部の部長でした、お名前は伏せますが、インテルの４００４開発のメンバーと聞きました。知らない、出来ないとは絶対に口にするな、知らないというのは如何に自分が無知かと言うことを口にしているだけでなんの得にもならないと、時にはファイルで頭をどつかれもしました。現在の職場でそのようなことをすればパワハラとの騒ぎになるだろうとも思いますが、それくらい真剣に上司が若い私を指導してくれたことで現在の自分があると思うのです。

先月、京セラの最高顧問の稲盛和夫氏の **“ 働き方 ”** という本を紹介しました。今は残業 100 時間までという決まりが出来たようですが、ファイルで頭をどつかれていた頃には残業 127 時間の記録に挑戦した思い出のある私には、この本の言わんとしていることはすんなりと理解できるのですが、昨今のブラック企業ありきの考えでは、稲盛氏の言わんとすることは理解して貰えないように思います。
小さくても人の前で働かなくてはならない私にはなんと言う響きの良い、心良い言葉が続くのかと感動の連続ですが、是非一度、ご機会があれば “ 働き方 ” をお読み下さい。
“ 私たちは自らの心を高めるために働く ”、“ 働くことが人をつくる ”、“ ど真剣に働く ”、など、言霊があふれていると思うのですが・・・?

- ニュースレターの内容

本誌は、EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation) 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。
重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。
本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。
- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域
- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

- 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション CS 部（カスタマーサービス部）まで sales@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571
- 発行：年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。
- 価格：各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

- 本誌の内容案内、ご購読案内は、http://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand GovernmentRadio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾経済部標準検験局
	CNS:Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2017-04-01 (No. 85)
発行所： 株式会社コスモス・コーポレイション 松阪事業所 http://www.safetyweb.co.jp/
〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地
発行人： 濱口慶一
編集人： 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2017 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation
本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。